

卅

令和3年度 閉校記念誌

この丘に 我ら誓いて
人とはならん 望みは堅し

下田東中学校



感謝と御礼を申し上げます

第22代校長 鈴木 元一

昭和41年4月に、浜崎・白浜中学校統合により、下田町立下田東中学校として、本校は56年の歴史を刻み続けてきました。長きにわたって、歴代校長と教職員、在校生94名を含む、総勢3,815名が、手を携えながら脈々とつないできた、栄えある下田東中学校の襷を置くことになりました。

私の本校での4年間の勤務を振り返りますと、豊かな自然、純朴で素直な生徒たち、情が厚く支援を惜しまない保護者・地域の皆様に囲まれ、充実した学校づくりができましたことに、感謝の念でいっぱいです。

本校は、地域に密着した特色ある教育活動を数多く展開してきました。地域清掃しながらのオリエンテーリング、調査活動・キャリア教育・福祉教育の視点で実施した地域体験学習（総合的な学習の時間）、生徒たち自らが創り上げる運動会、この地域の学校だからこそ須崎御用邸の訪問や海洋アクティビティ体験など、地域の方の協力のもと、これらの貴重な体験活動を通して、生徒たちの豊かな感性や社会性など、生きる力を育んできました。これまで、本校生徒に関わっていただきました皆様に、あらためて感謝申し上げます。

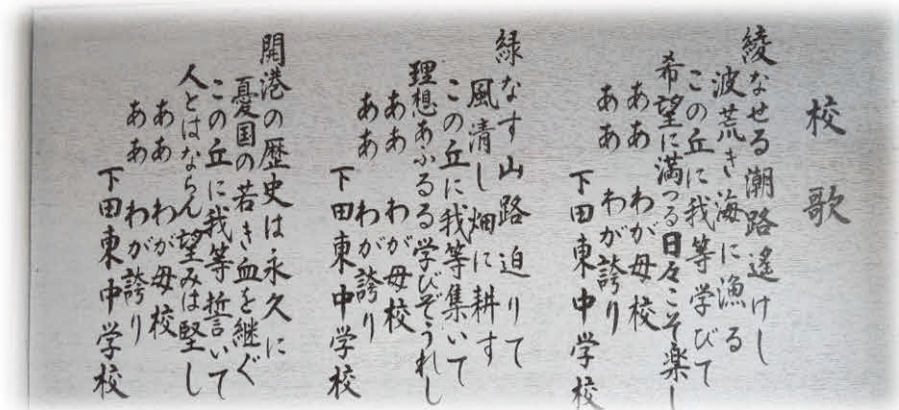
本校校歌に、「開港の歴史は永久に 憂国の若き血を継ぐ」の歌詞があります。開国の町下田で、吉田松陰のゆかりの地でもある本校の生徒に、強くたくましく、「志」をもって成長してほしいという願いが込められ、卒業後は、地元下田市や静岡県内はもとより、日本全国、そして海外など、社会の様々な分野で多数の方が活躍しておられます。

同窓生の皆様にとって、母校として、また、地域の学校としての伝統ある学び舎には、語りつくせないほどの思い出があり、閉校の寂しさは察するに余りあります。私も本校最後の校長として、皆様と同じ思いであります。在校生には、これまでの多くの先輩方が、どんな困難にも臆することなく、志高く邁進してきた下田東中学校の精神が、これからの新たな生活に反映していくとともに、この地で育つ子供たちへつなぎ、そして、これからの輝かしい未来を拓く力になっていくことを期待しています。

結びに、これまで本校の教育に携わってきた教職員を代表して、56年間、物心両面において、本校を支えていただきました、教育委員会、PTA会長様はじめとした保護者の皆様、同窓生の皆様、地域の皆様には、今まで本当に温かく生徒を見守っていただき、ありがとうございました。感謝と御礼を申し上げまして挨拶といたします。



五十六年の時を刻んだ時計



校歌

綾なせる潮路遠けし
波荒き海に漁る
この丘に我等学びて
希望に満ちる日々こそ
ああわが母校
ああわが誇り
下田東中学校

緑なす山路迫りて
風清し畑に耕す
この丘に我等集いて
理想あふるる学びぞうれし
ああわが母校
ああわが誇り
下田東中学校

開港の歴史は永久に
憂国の若き血を継ぐ
人とはならん望みは堅し
ああわが母校
ああわが誇り
下田東中学校

地域の皆様ありがとうございました

生徒会長 谷津くるみ



「私たちの代で東中が閉校する。」その話を聞いたのは小学校6年生の頃でした。母も通った東中が閉校してしまうことに始めはショックを受けましたが、それと同時に「東中最後の卒業生として卒業できる」という嬉しい気持ちもありました。

東中での思い出はたくさんありますが、特に記憶に残っている思い出の一つをお話したいと思います。それは、「オリエンテーリング」です。学校から爪木崎まで徒歩で行き、昼食をとったあと散策をして、自由時間になりました。まだ海に入るには少し寒い季節でしたが、自由時間になった途端、海に入って遊ぶみんなの姿はとても幸せそうで、楽しんでいるように見えました。もう東中生としてこのように爪木崎へ来ることがなくなってしまうと思うと、どこか寂しい気持ちになってしまいます。

この他にも運動会やコロナウィルスの影響で2年間実施できませんでしたが、持久走大会など地域と関わる行事を私たちは毎年開催してきました。これらの行事だけでなく様々な地域活動への参加や普段私たちが安全に学校生活を送ることができたのも全て、地域の方々や保護者の皆様の温かいご支援があってこそのことであると私は思っています。長い間、私たち東中生だけでなく下田東中学校を支えてくださり、本当にありがとうございました。



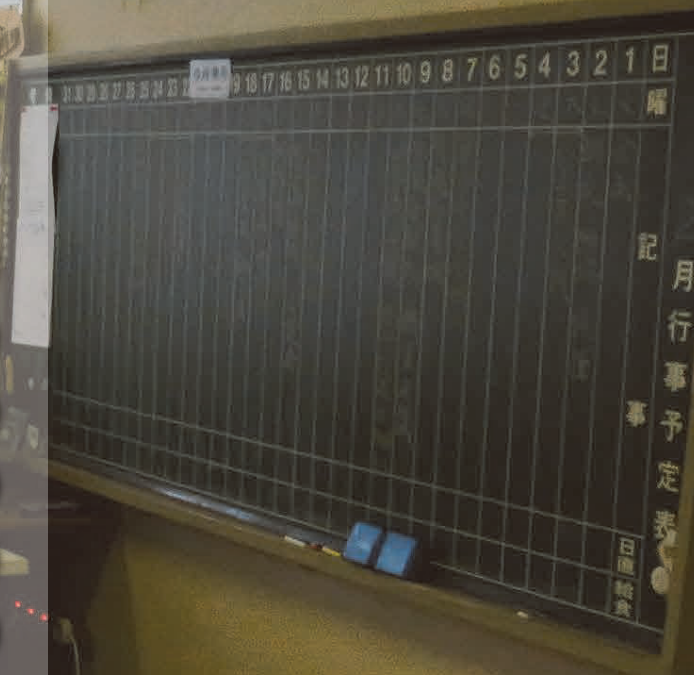
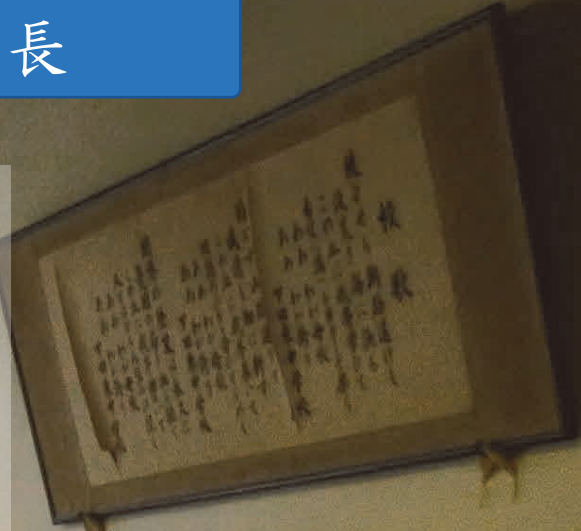
下田東中学校の沿革史

- 昭和41. 4. 1 浜崎・白浜両中学校統合により
下田町立下田東中学校と改称
42. 6. 1 柿崎1106番地に新校舎完成移転
42. 7.20 新校舎落成式
- 44.10.12 校門設立
45. 8.20 雨天通路完成
46. 1. 1 市制施行により下田市立下田東中学校と改称
47. 3.17 体育館落成
47. 5.20 登校道路舗装
- 47.12.24 体育館への登り道舗装
48. 1.10 完全給食開始
52. 8.31 体育器具室落成
- 52.12.15 駐車場舗装
53. 9.15 グラウンド照明設備竣工
59. 3.10 体育館床改修
60. 9.11 体育館塗装改修
62. 2.28 耐震補強大規模改修工事(1億5,748万円)
63. 県教育委員会より「国際理解教育」の指定を受ける(2年間)
- 平成 元.11.24 県教育委員会・下田市教育委員会指定の
「国際理解教育」研究 発表会開催
2. 9.15 校舎から体育館への通路全面改修工事
4. 8.30 調理室改修
5. 3.30 運動場改修工事、体育器具庫新築
5. 3.31 ベランダ塗装改修工事
6. 1.14 コンピュータ教室新設
- 7.10.27 下田市教育委員会指定の研究発表会
8. 4. 1 県福祉教育実践校に指定される。(3年間)
- 11.10.23 県指定、教育ルネッサンス21「楽しむ木フェスタ」発表
11. 8.27 新体育館完成
- 13.10.19 校舎全域給水管工事
14. 4.30 文部科学省、県指定「学校と地域を通じた奉仕活動推進事業」
ジュニア 夢クリエイト21 事業 実践発表
16. 3.10 玄関校章を新調
- 17.10.26 下田市教育委員会・教育研究会指定研究発表会
18. 1.10 2階洋式トイレ設置
22. 3. 3 パソコン導入(生徒用40台、教師用18台)
26. 8.26 電子黒板3台導入
27. 3.31 職員室・校長室・事務室エアコン設置
27. 9.10 体育館LED照明化
- 28.11.10 下田市教育委員会・教育研究会指定研究発表会
- 令和 2. 3.31 GIGAスクール構想により一人一台 iPad 導入

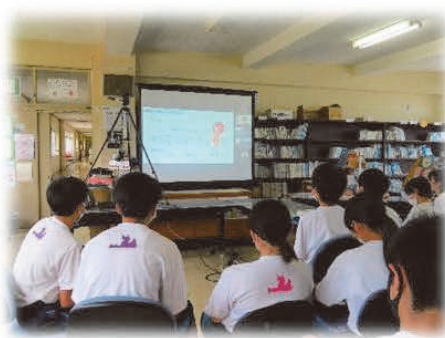


歴代校長

- 第1代 山本 栄作(昭和41年4月1日)
- 第2代 佐藤 芳雄(昭和44年4月1日)
- 第3代 鈴木 省吾(昭和46年4月1日)
- 第4代 進士加一郎(昭和49年4月1日)
- 第5代 土屋 常平(昭和52年4月1日)
- 第6代 外岡喜久夫(昭和55年4月1日)
- 第7代 佐藤 和三(昭和57年4月1日)
- 第8代 鈴木清太郎(昭和59年4月1日)
- 第9代 釜田 敏志(昭和61年4月1日)
- 第10代 三矢 進(昭和63年4月1日)
- 第11代 菊池 正明(平成2年4月1日)
- 第12代 藤井 忠(平成4年4月1日)
- 第13代 藤井 諄二(平成6年4月1日)
- 第14代 藤池 清信(平成8年4月1日)
- 第15代 野田 光男(平成12年4月1日)
- 第16代 鈴木 徳義(平成14年4月1日)
- 第17代 大川 道雄(平成16年4月1日)
- 第18代 進士 司(平成18年4月1日)
- 第19代 佐々木文夫(平成21年4月1日)
- 第20代 高寺 輝行(平成23年4月1日)
- 第21代 猪ノ原克巳(平成27年4月1日)
- 第22代 鈴木 元一(平成30年4月1日)



運動会を中心とした行事



東中の伝統行事となったオリエンテーリング



下田東中学校

校歌

作詞 土屋仙右衛門
作曲 迫 新一郎

一

綾なせる 潮路遙けし
波荒き 海に漁る
この丘に 我等学びて
希望に満つる 日々こそ楽し
ああ わが 母校
ああ わが 誇り
下田東中学校

二

緑なす 山路迫りて
風清し 畑に耕す
この丘に 我等集いて
理想あふるる 学びぞうれし
ああ わが 母校
ああ わが 誇り
下田東中学校

三

開港の 歴史は永久に
憂国の 若き血を継ぐ
この丘に 我等誓いて
人とはならん 望みは堅し
ああ わが 母校
ああ わが 誇り
下田東中学校



地域の皆様、本当にありがとうございました
東中生としての誇りをもって頑張っていきます

